



ご相談ください
私たち社会福祉士です

高齢者虐待の防止に向けて 一人で悩まずに ご相談ください

地域や家族のつながりが薄くなってきたこともあり、介護者の孤立や介護疲れ、認知症高齢者の問題行動からくるストレスや介護負担から高齢者虐待が起こることがあります。高齢者への虐待を防止するため、気をつけていただきたいことを紹介します。

介護が長期化している場合や介護者が病気や精神的な問題を抱えている場合、介護者に介護の経験がない場合などは注意が必要です。

高齢者虐待は、虐待している側に自覚がなかったり、虐待されている高齢者本人が家族などに遠慮していたりする

ことなどから、なかなか周囲には見えにくいものです。また、周囲の人も他人の家庭内のことに口を出しにくいということもあり、発見や通報、対応が遅れてしまうことが多くあります。

虐待の発生や深刻化を防ぐには、介護者だけで悩みを抱え込まないことがたいせつです。また、できるだけ早い段階で第三者への相談や介護保険サービスなどを活用し、ストレスや介護負担の軽減などの対応をしていくことが重要です。

「私には関係ない」と思っているかたもいると思います。が、そんなことはありません。実際、開成町でも高齢者虐待は目に見えないところで確実に存在しています。そして、目に見えない存在だからこそ、みんなで自分の問題として「どうしたらいいのか」を考えていかなければいけません。

高齢者虐待とは

高齢者虐待には暴力的な行為のイメージがありますが、暴言や無視、いやがらせ、勝手に高齢者の資産を使ってしまふなどの行為や必要な介護

サービスを受けさせない、世話をしないなどの行為も含まれます。高齢者虐待には次の五つがあります。

- ・怒鳴る、無視するなどの心理的虐待
- ・生活に必要なお金を渡さないなどの経済的虐待
- ・食事を与えないなどの介護や世話放棄・放任
- ・性的な嫌がらせや強要などの性的虐待（夫婦であつても同じです）
- ・たたくなどの身体的虐待

気付かないうちに虐待になることも

高齢者虐待は、特別な家庭のみに起きるのではなく、認知症の問題行動や介護疲れなどにより、どこか家庭にも起こりうる身近な問題です。

しかし、虐待を受けている高齢者の中には、「世話をしてもらっているのだから仕方がない」と不満などを訴えることができない人もいます。また、本人の能力以上にリハビリを強要してしまうなど高齢者のためになると思っ

て行っていることや、介護方法

が分からないことによる介護や世話の放棄・放任が虐待につながる」と認識している人は、あまりいないのではないのでしょうか。

高齢者虐待の防止

高齢者虐待の予防や深刻化を防ぐには、早期発見・早期対応が重要です。

「介護に行き詰まりを感じている」「虐待を受けてしまった」「虐待を受けている」などでお困りの時は、迷わずにご相談ください。介護サービスや介護方法、認知症のこと、成年後見制度などの各種サービスについても併せて案内します。

- 日ごろから相談できる人はいますか？
- 健康で充実した生活を送れていますか？
- 自分でも知らないうちに介護負担やストレスがたまっていますか？

高齢者虐待は、虐待をしている人が必ずしも悪いわけはありません。また、認知症の症状などから虐待を受けている高齢者が悪いのでもありません。高齢者虐待は、さまざまな要因や環境がそのような行為につながっていることが多いからです。悩みは一人で抱え込まずにどんなささいなことでも構いませんので、お気軽にお尋ねください。

保健介護課

社会福祉士 古屋 純

☎84-0320



※今月号は、「お元気ですか？ 保健師です」を休載しました。

子育てワンポイント

59

2歳になっても、まだ一語文を話すだけで何が伝えたい時は、手を引くのは何が大変

言葉の発達は、個人差が大きく、それだけに「他の子どもより、遅い気がする」と心配される場合が多いようです。

まずは、できるだけ言葉がけや言葉によるやりとりの機会を多く持つことを心がけて成長の様子をみていきましょう。

絵本の読み聞かせや歌をいっしょに歌うのも効果的です。

子どもは、日常生活の中で言葉や言葉の少ない環境の場合、周囲の言葉を模倣する機会も限られて、言葉を使っている力が育ちにくいようです。相手に伝える必要がなければ、自分の主張や思いを言葉で表現することが少なくなってしまうのです。ですから、子ど

もが何かを伝えようとした時は、その気持ちを温かく受け止め、「きれいなお花だね」「この靴がはきたいの？」と言葉でゆっくりと具体的に表現を投げかけてあげましょう。無理にせかして言わせることは、かえって逆効果です。言い直させたり、間違いを指摘するのはなく、「そうだね、○○だね」と正しい表現を返すようにしましょう。

支援センターでは、同年齢の親子での子育てサロン「あそぼう会」を毎週火曜日・金曜日に行っています。随時受け付けていますので、お問い合わせの上、お出かけください。

開成町子育て支援センター
酒田保育園
☎84-1222



「この開成小学校をよりよくするには？」と校内取材中

私 が開成小学校に赴任して、2年が経ちました。今年度は180人近い6年生といっしょに過ごしています。とても元気で素直な子どもたちと、ワクワクドキドキの毎日です。

2 月、子ども議会がありました。毎年、開成小学校の6年生が質問をしたり提案をしたりするということで、今年度はどんな内容の質問や提案にしようかと事前に学級で話し合いました。

「夜 歩いてると暗いから、街灯を増やしたい」「駅前公園を、より安全で楽

しめる公園にしたい」「1年中スポーツや遊びを楽しめるような施設がほしい」など、とてもたくさんさんの案が出されました。

な せそうしたいのか聞いてみると、「自分たちはあまり夜歩くことはないけれど、大人の人にとって街灯があった方がいいと思う」

生 生 しポート 今
子どもたちは
「私たちの町、開成町」

開成小学校教諭 夏目 亜弥

「公園にはいろいろな人たちが来るから、来る人みんなが過ごしやすいようにしたい」というような話になりました。自分たちがこうしたいという視点ではなく、「開成町に住んでいる人みんなが過ごしやすい町にしたい」という視点で話している子がたくさんいることに私は感激しました。「開成町を、よりよい町にし

たい」という子どもたちの強い思いが伝わってきて、この開成町には、子どもたちが思うような魅力があるんだとも思いました。

今 から30年前、私は酒田保育園の園児でした。当時は今の場所ではなく円通寺観音堂の奥に保育園があったことを憶えています。今でも、その前を通ると、とても懐かしい感じがして「ここでままごとをしたな」「この広い場所ではおにごっこをしたな」と思い出します。きっと子どもたちにも、開成町に対するたくさんの思いがあることでしょう。その思いがきっと、子ども議会についての話し合いのときの「よりよい町にしたい」という気持ちにつながったのではないかと思います。

こ の3月、6年生は開成小学校を卒業します。これから開成小学校に、そして開成町に愛着をもって、自分たちの町、開成町をたいせつにしよう、よりよい町にしていこうという気持ちで進んでいってほしいと思います。